

# 令和6年度第1回自動車整備技能登録試験〔学科試験〕

第109回〔三級自動車ジーゼル・エンジン〕

令和6年10月6日

## 33 問題用紙

### 【試験の注意事項】

- 問題用紙は、開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 答案用紙と問題用紙は別になっています。解答は答案用紙(マークシート)に記入して下さい。
- 試験会場から退場するとき、問題用紙は持ち帰って下さい。

### 【答案用紙(マークシート)記入上の注意事項】

- 「受験地」、「回数」、「番号」の欄は、受験票の数字を正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
- 「生年月日」の欄は、元号は漢字を、年月日はアラビア数字を(1桁の場合は前にゼロを入れて、例えば1年2月8日は、010208)正確に記入するとともに、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。
- 「氏名(フリガナ)」の欄は、漢字は楷書で、フリガナはカタカナで、正確かつ明瞭に記入して下さい。
- 「性別」、「修了した養成施設等」の欄は、該当する数字の○を黒く塗りつぶして下さい。  
ただし、「① 一種養成施設」は、自動車整備専門学校、職業能力開発校(職業訓練校)及び高等学校等で今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の養成課程を修了して2年以内の者。  
「② 二種養成施設」は、自動車整備振興会・自動車整備技術講習所において今回受験する試験と同じ種類の自動車整備士の講習を修了して2年以内の者。  
「③ その他」は、前記①、②以外の者、または、実技試験免除期間(卒業又は修了後2年間)を過ぎた者。
- 解答欄の記入方法
  - 解答は、問題の指示するところに従って、4つの選択肢の中から最も適切なもの、又は最も不適切なもの等を1つ選んで、解答欄の1~4の数字の下の○を黒く塗りつぶして下さい。  
2つ以上マークするとその問題は不正解となります。
  - 所定欄以外には、マークしたり記入したりしてはいけません。
  - マークは、HBの鉛筆を使用し、黒く塗りつぶして下さい。ボールペン等は使用してはいけません。  
良い例 ● 悪い例 ○ ✕ ✖ ⊖ ○(薄い)
  - 訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消して下さい。
  - 答案用紙を汚したり、曲げたり、折ったりしないで下さい。

### 【不正行為等について】

- 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。試験時間中に試験会場内において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、その理由にかかわりなく、不正の行為があったものとみなすことがあります。
- 試験会場の机の上には、筆記用具と卓上計算機以外のものを置いてはいけません。ただし、卓上計算機は、計算以外の機能をもったものを使ってはいけません。
- 1.、2. で禁止されているような不正行為を行った者に対しては、試験監督者において、その者の試験を停止することができます。1.、2. の例に当てはまらない場合であっても、試験監督者において、登録試験に関して何らかの不正の行為があると認めたときは、同様の措置を執ることができます。
- 試験会場において試験を停止され又は何らかの不正の行為を行った者については、その試験を無効とすることがあります。  
この場合においては、その者に対し、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。
- 試験後において、登録試験に関して何らかの不正の行為があったことが明らかになった場合にも、4. と同様に、その試験を無効とし、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

[No. 1] ジーゼル・エンジンの燃焼に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ガソリン・エンジンと比較して、圧縮比は大きい(高い)。
- (2) ジーゼル・エンジンの熱効率は、約 20 %～25 % である。
- (3) エンジン自体の吸気の吸い込み状況の良否を比較する尺度として、体積効率がある。
- (4) 1 kg の軽油を完全燃焼させるのに必要な空気の質量は、理論上約 15 kg である。

[No. 2] 着火順序が 1—3—4—2 の 4 サイクル直列 4 シリンダ・エンジンにおいて、第 4 シリンダがオーバーラップの上死点にあり、この位置からクラシクシャフトを回転方向に 540° 回転させたときに、圧縮上死点になるシリンダとして、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 第 1 シリンダ
- (2) 第 2 シリンダ
- (3) 第 3 シリンダ
- (4) 第 4 シリンダ

[No. 3] ジーゼル・ノックが発生する原因として、不適切なものは次のうちどれか。

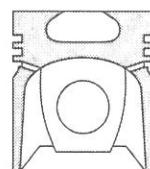
- (1) 燃料の噴射時期が遅過ぎるとき。
- (2) エンジンの圧縮圧力が低いとき。
- (3) 燃料が噴射されてから着火するまでに噴射された燃料の気化が悪いとき。
- (4) 噴射始めにできた可燃混合気が、燃焼時において急激に燃焼し、異常に圧力が上昇したとき。

[No. 4] ジーゼル・エンジンの排出ガスに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) ブローバイ・ガスに含まれる主な有害物質は、CO(一酸化炭素)である。
- (2) DPF(ジーゼル微粒子除去装置)は、NO<sub>x</sub>(窒素酸化物)を減少させる。
- (3) 尿素 SCR システム(排気ガス後処理装置)は、PM(粒子状物質)を減少させる。
- (4) PM は、黒煙を主成分とする混合物である。

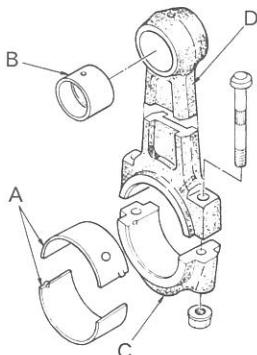
[No. 5] 図に示すジーゼル・エンジンのピストンにおいて、直接噴射式燃焼室の形状の名称として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 球形(M 形)
- (2) 浅皿形
- (3) リエントラント形
- (4) 深皿形(トロイダル形)



[No. 6] 図に示すコンロッドの構造で、コンロッド・ペアリングを表すものとして、適切なものは次のうちどれか。

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D



[No. 7] 燃焼室へのエンジン・オイル下がりの原因として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) シリンダの摩耗
- (2) ピストンのオイル・リング溝に設けた、オイル戻し口の詰まり
- (3) バルブ機構のオイル・シールのシール不良
- (4) ピストン・リングとリング溝との隙間の過大

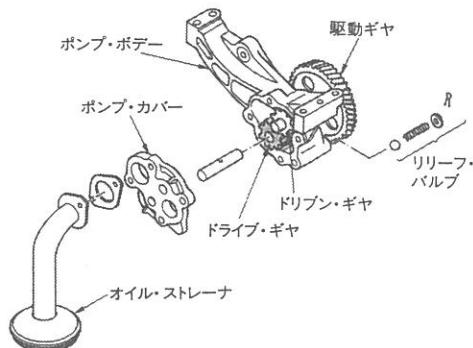
[No. 8] シリンダ・ブロック及びシリンダ・ライナに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 乾式ライナは、特殊<sup>ちゅううてつ</sup>鋳鉄製の薄い円筒状のもので、シリンダに圧入または挿入されている。
- (2) 湿式ライナの外周面下部には、冷却水漏れ防止用のリング状のゴム・パッキンが取り付けられている。
- (3) シリンダ・ブロックには、一般に特殊鋳鉄が用いられる。
- (4) 一般にシリンダ・ライナ上面は、シリンダ・ブロック上面と同じ高さに組み付ける。

[No. 9] ピストンへのコンロッド及びピストン・リングの組み付けに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ピストン・リングを取り外すときは、ピストン・リング・コンプレッサを用いる。
- (2) ピストンとコンロッドを組み付けるときには、それぞれの前後方向の向きを誤らないようする。
- (3) ピストン・リングを組み付けるときには、リングの組み付け位置、上下の向きなどを誤らないようにする。
- (4) 組み合わせ型オイル・リングは、コイル・エキスパンダの継ぎ目とリングの合口とは、180°ずらして組み付ける。

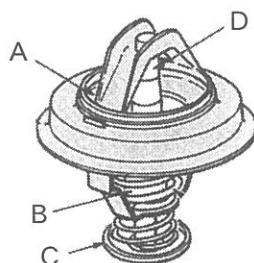
[No. 10] 図に示すギヤ式オイル・ポンプに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。



- (1) ドライブ・ギヤとドリブン・ギヤの回転により、ギヤの吸入口に発生する負圧によってオイルを吸入する。
- (2) ギヤの歯先とポンプ・ボディとの隙間の点検には、シックネス・ゲージを用いる。
- (3) ドライブ・ギヤ及びドリブン・ギヤの側面とポンプ・カバーとの隙間が大きくなると、ポンプの性能が著しく低下する。
- (4) オイル・ストレーナは、詰まるときリリーフ・バルブが作動する。

[No. 11] 図に示すワックス・ペレット型サーモスタットのバイパス・バルブを表すものとして、適切なものは次のうちどれか。

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D



[No. 12] 4サイクル直列4シリンダ・エンジン用の分配型インジェクション・ポンプに関する次の文章の(イ)と(ロ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。

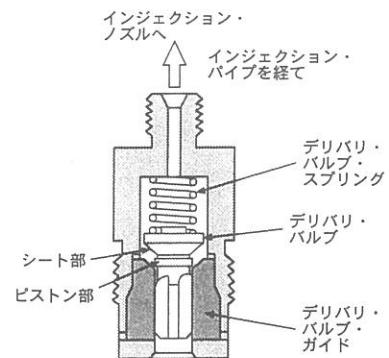
エンジンの(イ)が2回転すると、ドライブ・シャフトは1回転し、プランジャーは(ロ)往復運動する。

(イ) (ロ)

- |              |    |
|--------------|----|
| (1) カムシャフト   | 4回 |
| (2) クランクシャフト | 4回 |
| (3) カムシャフト   | 8回 |
| (4) クランクシャフト | 8回 |

[No. 13] 図に示す4サイクル直列4シリンダ・エンジン用の列型インジェクション・ポンプのデリバリ・バルブに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) デリバリ・バルブは、ポンプ・ハウジングに取り付けられていて、1個で各インジェクション・パイプ内の残圧を保持する働きをする。
- (2) シート部は、燃料が逆流するのを防止するとともに、インジェクション・パイプ内の残圧を保持する働きをする。
- (3) ピストン部は、インジェクション・ノズルでの燃料の噴射切れをよくするために、燃料の吸い戻しを行う働きをする。
- (4) インジェクション・パイプ内の残圧が高過ぎると、燃料の噴射切れが悪くなるため、エンジン性能や排気ガスに悪影響を与える。

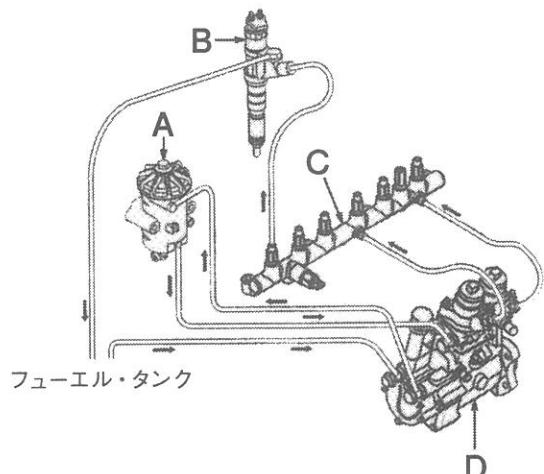


[No. 14] コモンレール式高压燃料噴射装置のコモンレールに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) ECU(エレクトロニック・コントロール・ユニット)による圧力フィードバック制御には、コモンレールに設置された圧力センサが用いられている。
- (2) サプライ・ポンプにより生成された高压燃料を蓄えている。
- (3) 高压燃料を蓄えるとともに、各インジェクタに分配する役目をしている。
- (4) コモンレール内の圧力脈動を低減するために、プレッシャ・リミッタが用いられている。

[No. 15] 図に示すコモンレール式高压燃料噴射装置に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) Aは、燃料中に含まれているごみを取り除く。
- (2) Bは、規定の圧力に達すると燃料を噴射する。
- (3) Cは、高压になった燃料を蓄えておく。
- (4) Dは、燃料を高压にする。



[No. 16] Vベルトと比べたときの、Vリブド・ベルトの特徴に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 伝達効率が高い。
- (2) ベルト断面が薄い。
- (3) 張力低下が少ない。
- (4) 耐屈曲性に優れているが、耐疲労性は劣る。

[No. 17] 鉛バッテリに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 電解液は、硫酸と水を混合した希硫酸である。
- (2) 自己放電の程度は、電解液の比重及び温度が高いほど多くなる。
- (3) 完全充電状態のときの電解液の比重は、液温 20 °C に換算して 1.220 である。
- (4) 電解液の不足は、極板のサルフェーションやセパレータの劣化の原因となる。

[No. 18] ブラシ型オルタネータのロータに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) ロータには、IC式ポルテージ・レギュレータが内蔵されている。
- (2) ロータ・コアは、回転するシャフトと一体となって組み付けられている。
- (3) ロータ・コアとロータ・コイルの間には、僅かな隙間が設けられている。
- (4) ロータ・コアに電流を流すことによって、ロータ・コイルが磁化される。

[No. 19] 外接式のリダクション式スタータの構成部品として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) マグネット・スイッチ
- (2) クラッチ・ギヤ
- (3) オーバランニング・クラッチ
- (4) シフト・レバー

[No. 20] 予熱装置に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) グロー・プラグの点検において、抵抗を測定したときに抵抗値が無限大であれば断線しているので、グロー・プラグの交換が必要である。
- (2) 電熱式インテーク・エア・ヒータでは、吸入空気の温度に応じて、予熱時間を制御している。
- (3) グロー・プラグは、燃焼室に向かってシリンダ・ヘッドに取り付けられており、寒冷時の始動を容易にしている。
- (4) インテーク・エア・ヒータ式予熱装置は、吸入空気を暖めて始動を容易にするものである。

[No. 21] 次に示す諸元のエンジンの1シリンダ当たりの燃焼室容積について、適切なものは次のうちどれか。

- (1)  $26.6 \text{ cm}^3$
- (2)  $35.8 \text{ cm}^3$
- (3)  $37.8 \text{ cm}^3$
- (4)  $40.0 \text{ cm}^3$

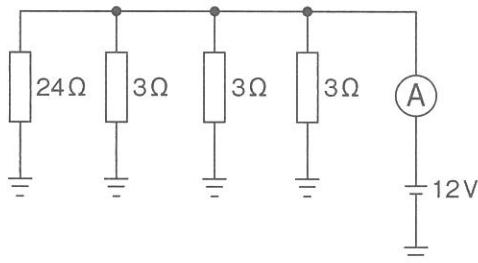
○総排気量 : $2,800 \text{ cm}^3$
○圧縮比 : 18.5
○シリンダ数 : 4

[No. 22] 電力量の単位として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) Wh(ワット・アワー)
- (2) W(ワット)
- (3) C(クーロン)
- (4) F(ファラド)

[No. 23] 図に示す回路において、電流計 A に流れる電流値として、適切なものは次のうちどれか。ただし、バッテリ、配線等の抵抗はないものとする。

- (1) 0.3 A
- (2) 1.4 A
- (3) 12.5 A
- (4) 19.2 A



[No. 24] ねじの呼びが「M 16 × 1.5」と表される「六角ナット」に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) めねじの谷の径は 16 mm である。
- (2) スパナは口径 16 mm のものを使用する。
- (3) 標準締め付けトルクは 1.5 N·m である。
- (4) ねじ山の高さは 1.5 mm である。

[No. 25] エンジンの圧縮圧力の点検・測定に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) エンジンを暖機してから行う。
- (2) エア・クリーナを取り外し、点検するシリンダのみノズル・ホルダまたはグロー・プラグの取り外しを行う。
- (3) 測定は、1シリンダ当たり 2回～3回行い、その平均値を基準とする。
- (4) バッテリは、完全充電されたものを使用し、必ず全シリンダの測定を行う。

[No. 26] 燃料(軽油)に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) 流動点とは、軽油を静止させ冷却したときに流動し得る最低の温度のことである。
- (2) 一般に軽油は、着火点が 250 °C～350 °C で、やや黄色味を帶びている。
- (3) 寒冷地では、一般に流動点の低い 3 号又は特 3 号が用いられている。
- (4) 軽油は、揮発性に優れ、引火点が低く、オクタン価が高いことが要求される。

[No. 27] 測定器及び計測器具の用途として、不適切なものは次のうちどれか。

- (1) プラスチ・ゲージは、シリンダの内径の測定に用いられる。
- (2) コンプレッション・ゲージは、エンジンの圧縮圧力の測定に用いられる。
- (3) ストレートエッジは、シリンダ・ヘッドなどの平面度の測定に用いられる。
- (4) シックネス・ゲージは、バルブ・クリアランスなどの隙間の測定に用いられる。

[No. 28] 「道路運送車両の保安基準」に照らし、自動車の高さの基準として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 2.5 m を超えてはならない。
- (2) 3.6 m を超えてはならない。
- (3) 3.8 m を超えてはならない。
- (4) 4.8 m を超えてはならない。

[No. 29] 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、後退灯の灯光の色に関する基準として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 白色であること。
- (2) 白色又は青色であること。
- (3) 白色又は黄色であること。
- (4) 白色又は淡黄色であること。

[No. 30] 「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、燃料装置に関する基準について、次の文章の( )に当てはまるものとして、適切なものはどれか。

燃料タンクの注入口及びガス抜口は、露出した電気端子及び電気開閉器から( )以上離れていること。

- (1) 50 mm
- (2) 100 mm
- (3) 200 mm
- (4) 350 mm